

# 市民電力連絡会・第5次エネルギー基本計画に対する声明

2018年6月17日

特定非営利活動法人 市民電力連絡会

理事長 竹村英明

基本的な認識欠如に基づいたエネルギー基本計画は、国の指針たり得ない。  
情報の共有と共通認識に基づき、改めて議論が行われることを求める。

第5次エネルギー基本計画案が公表され、広く国民意見が求められているが、前提が間違っている。文章の方向性も一致していない。政府の中で情報共有と、方向性の共通理解がないと疑わざるを得ない。

このような政策を強要される産業界は世界からの立ち遅れ、機会損失を招く。問題は、検証し議論する仕組みの欠如だ。立場に偏りのある審議会等の委員構成、公聴会等もなく、認識の間違いを指摘する場もない。当会は以下の5点を指摘し、このエネルギー基本計画への警鐘とする。

## 1、「再生可能エネルギーは火力に依存し、脱炭素化電源でない。」は認識間違い。

再生可能エネルギーは、今や世界中で拡大し経済を牽引している。「火力依存」の意味は、単に火力が調整電源という意味に過ぎず、出力調整のできない原子力発電所も同じ。欧米の調整電源は、主に小型ガスコージェネで、大規模な石炭火力や天然ガス火力は調整電源に向かない。しかるに、日本では重厚長大な火力が調整電源というミスリードがある。再生可能エネルギーを脱炭素電源ではないという記述は直ちに削除されるべきである。

## 2、「3E+S」を正しく評価すれば、選択肢は再生可能エネルギーになる。

政府が盛んに使う「3E+S」の評価基準はどのように作られているのか。当方では、20項目の評価基準を作成し、5つの電源を比較して見たが、結論は環境、経済、供給安定性、安全の4つの要素全てで再生可能エネルギーが一番となり、原子力が最下位であった。正しく再生可能エネルギーへの「エネルギー転換」をできる限り速やかに行える政策を提示すべきである。

## 3、化石燃料アタマの「日本は資源小国」認識は破棄すべきである。

随所に日本は資源が少なく、それによる地政学的リスク、地球温暖化対策リスクなどを抱えているという「資源小国」認識がある。日本は再生可能エネルギー資源大国であり、その開発には原子力や天然ガスのように長いリードタイムも不要。根本的誤りは、エネルギー政策の現状を「混乱」と決めつけ、決定的なものがないから選択肢は多様として、膨大な資源量を有する再生可能エネルギーの利活用の邪魔することである。

#### 4、再生可能エネルギー賦課金を国民負担増とするのは誤り。

資源量、地球温暖化対策、地政学的リスク回避、コストや経済性の面において優れた解決策である再生可能エネルギーの拡大への、本計画における懸念は、送配電網の増強コストと再生可能エネルギー賦課金（以下「賦課金」。）による国民負担の増大のみである。送配電網については運用ルールの改善でかなりの問題が解決される。賦課金については、2030年の再生可能エネルギー比率24%、この時点の賦課金負担総額4兆円として、2050年までの国民負担額は80兆円となる。しかし、再生可能エネルギー普及は必ず、化石燃料輸入を削減する。従って化石燃料輸入額を減らし、その額は120兆円となる。これは電気料金の削減につながるものであり、国民負担は40兆円減る。ちなみに原発再稼働がうまく進まず、2030年には非化石44%全て再生可能エネルギーになると仮定しても、賦課金負担額は160兆円に増えるが、化石燃料輸入額の削減は246兆円となる。100兆円以上の国民負担の軽減である。

政府は賦課金を単独で評価して、他の影響を無視するような方法で、賦課金を攻撃することはやめなければならない。

#### 5、原子力も石炭火力も選択肢から外すべきである。

エネルギー政策は「総力戦」ではなく「選択と集中」が不可欠である。エネルギー資源の開発には時間と費用がかかり、「総力」という名のバラマキでは、どれもが過少投資となり十分な効果が得られない。

IEA(国際エネルギー機関)の報告書「電力の変革」(NEDO訳)によれば、太陽光や風力などの変動電源の系統連系において、変動電源の高い導入シェアは、電力システムコストの大きな増加なしで実現可能。障害は「1、変動電源を既存系統への付加と考える古典的かつ保守的な見方」と「2、このような転換で起きる勝ち組と負け組の存在」と分析する。原子力と石炭が、再生可能エネルギーと、いわば勝ち負けを争い、歴史と経験の浅い再生可能エネルギーの邪魔をしている。政府の政治的選択が重要ということだ。

以上5点を指摘し、市民電力連絡会からの提言とする。

原子力推進では「双方向の対話」をうたいながら、エネルギー基本計画そのものでは公聴会一つも行わないのは、甚だ疑問である。今からでも、全国各地での意見交換や国民的議論へと進む事を期待したい。